

栃木県農業大学校 令和7年度学校評価シート（計画）

目指す方向 魅力ある農大づくり ～農大の価値を高め、とちぎの農業を担う人材を育成する！～

重点目標	現状と課題	評価項目	具体的方策	取組項目		経過・達成実績	達成度	次年度の課題と改善方向	主担当				
		評価指標		学部・塾	内 容								
1 入学生 の確保 (就農を 目指す 応募者 の増加)	(現状) ○入学者数は H23研究科廃止以降、平均64.6名と少なかったが、R3いちご学科創設以降は、平均73.3名と増加した。ただしR7は68名であった。 ○R6のオープンキャンパスの参加者は183名で、目標の160名を上回った。 ○R6のとちぎ農業未来塾の受講希望者数は71名で、目標の70名を上回った。 (課題) ●高校生に対して、農業大学校の存在や特徴を認知してもらい、就農を目指す応募者の増加を図る必要がある。 ●「いちご学科」について、農業振興事務所や農業関係団体等との連携と併せて、高校生・大学生、社会人、農業者等幅広い年代への積極的な広報活動等により、「いちご経営者」を目指す学生の確保を図る必要がある。 ●とちぎ農業未来塾の受講希望者や品目については、柔軟な受け入れ体制が必要である。	入学生（定員）80名 (内訳) ・農業生産学部70名 ・農業経営学部（いちご学科）10名 とちぎ農業未来塾生70名以上	(1)農業大学校の情報、魅力の発信	生産学部 経営学部	○オープンキャンパス(OC)等による農大の理解促進 ・参加者の農業理解度に合わせた農業高校OC(学生交流会重視)、一般高校等OC(実習重視)を実施 ・いちご学科は一般高校等OCの他、単独OCを実施 ・OCプログラム等の工夫（在校生の生の声を届ける / 県立学校ならではの強みを伝える） ・HP・ポスター・チラシ等による適時適切なPR					学生課 企画情報部会			
					○高校への出前授業、高大連携、JA等への農大PRの推進 ・学校説明会や出前授業等への積極的な参加					学生課 企画情報部会			
				生産学部 経営学部 未来塾	○農大の魅力発信	○HPの充実、県SNSの活用 ・各学部、学科等の情報の日常の学習風景を含めたきめ細かな発信						学生課 企画情報部会	
						○マスメディアの活用 ・新聞・各種広報誌等への情報提供							
						○広報物によるPR ・キャンパスガイドや学生募集チラシ等の県内外高校等への速やかな配布							
						○学校生産物販売等によるPR ・農大祭、校外販売実習の実施							
						○関係機関等との連携							
				経営学部 未来塾	○新規就農イベント等におけるPR ・新規就農相談会の紹介やトチノフェア等への参加 ・未来塾受講希望者の希望品目を積極的に採用						いちご学科 未来塾担当		
				(2)入試方法の改善	生産学部 経営学部	○出願期間等の改善	○実施時期、出願期間等の随時見直し ・他の農業系大学の入試実施日を考慮					学生課	
							○合格者への情報提供（後期） ・入学までの校内イベントや、県の就農相談等の情報提供						